

## さいたまシニアユニバーシティ岩槻校 第9期文化祭特集号

会長挨拶 学友会会長 羽廣 晶子

第9期の文化祭が盛大に開催されました。搬入の日も本番の日も文化祭を祝福するようになり晴れて、全てがスムーズに運べました。展示品も思いのほかたくさん集まり、中には魂のこもった芸術品もあって素晴らしい展示会になりました。当番班の役目の方たちの献身的なご協力と、皆様の一致団結したご協力の賜物でした。ありがとうございました。思えば出だしから委員長、副委員長二人の交代劇と言うハプニングが起りましたがお二人は本当に良くやって下さいました。初め、このイベントが大きすぎてどうやってよいか検討もつきませんでした。三役初め私と副会長の二人との6人で何度も集っては企画を練ってきましたが、やるほどに完全にはできません。最後には時間が足りなくて見切り発車状態でしたが「案ずるより産むが易し」の例え通り、不完全さが返って素人っぽくて、暖かさが出ていたように思いました。1班から7班までのそれぞれ息のあった演技は、「みんな違ってみんないい」良い歌あり、踊りあり、オペラあり、ゲームあり、一致団結した班毎の努力が手に取るように判って好もしかったです。班の結束が益々固まったことでしょう。皆さまの協力でこのように素晴らしく、楽しく、盛大な文化祭を開催し、終える事ができましたこと、本当に感謝です。ありがとうございました。



史跡めぐりクラブ



花散策クラブ



ハイキングクラ



川柳を批評(?) 傑作ぞろい



PCクラブの作品と杉山さん



素敵な作品を前に語る学友たち



若い私はどれ? 顔あてクイズ



クラブ活動も活発でした



何れも傑作ぞろい

祭りの後で 実行委員長 渡辺 守

過日の文化祭におきましては、事の成否は別として「チーム九期生」一丸となったイベントであったと

確信しています。思えば7月末、副班長から班長、そして文化祭実行委員長へと俗に言う二階級特進の白羽の矢が飛んできました。よく見ると毒の着いた毒矢だったのですかね。その日から3カ月、暗中模索の中、悪戦苦闘の毎日でした。ただ私は馬に例えるならば駄馬、所謂農耕馬のようなもので、競走馬であるサラブレッドトやアラブのように骨折、ひび等で薬殺されるようなドロップアウトだけは避ける気持ちでもっていました。生来のフランクさとアバウトさ、そして駄馬根性で苦難の3か月を乗り切れたのかとも思っています。その間、会長、副会長から背中を押され、肩をたたかれ、少しづつ追い風に乗りながら、何とか祭りの終了にこぎつけることが出来ました。ここに、紙面を借りて執行部一同から御礼を申し上げます。終わりに、今回の文化祭執行全般における、成・否について皆様のご意見を頂き、10期生或いは大学院での文化祭執行に反映できれば、より意義のあるイベントであったと思っています。是非ともお聞かせください。(祈る 10のうち1つや2つ位 成 もほしいな！)



多才な芸を披露してくれました



1班 「みるな の 座敷」



2班 合唱 花は咲く 他



3班合唱 川は流れのように 他



4班 替え歌 高校三年生他



5班クイズで当てて宝くじを！



6班 踊り サザエさん



7班 人生カラオケ音頭 他



デュエット 花は咲く



二胡 独奏



有志きよしのズンドコ節



ソロ 歌曲「ラルゴ」他